

日本近信

亞鉛屋根の假小學校
裸體で教授する

東京市内の各小學校は震
災後亞鉛板で屋根をふた
臨時校舍を使用してゐるた
め酷暑を蒙ると共に火熱
焼くが如く止むを得ず教師
生徒も半裸体と成つて勉強
してゐる。

日本各地の酷暑

連日酷暑が続く東京
は九十三度、京都は九十四度
大坂神戸山形新潟和歌
山各地は九十九度以上にて近
畿農村は大旱魃にて水争
談頻々として起つて居る
(東京七月十四日号)

海軍航空隊増加案

財部海相は特別議會に於て
海軍航空隊は大正拾八年
度迄に廿八隊に増加せん意
向であると明言する。

國旗犯人

岡田利平收監
米國大使館國旗奪取
犯人岡田利平は家宅侵
入罪にて共犯者二名は證
據隠匿罪にて就北記
訴收監され國旗奪取は
一段落と告げられた。

議會は動物園

米國の振興廻す有る
米田清豊吉(中)は用
度微少討議中憲政會
の中野寅吉、政友本党の
原物心兵衛、中野の猪野
毛利榮等は演壇にて
擲詞合ひて演じた。

米画排斥の取消

東京市内活動寫真會
會社は米画排斥取消
の廣告を出し、
兵役志願者増加
日米係争問題にて今年の
兵役志願者項に増加し

徳川公暗殺未遂

徳川公暗殺企てた青年
最初野田一夫と稱して
居るとも尋問の本名は
佐藤多三郎とあること自
白し、又共犯人松本源太
郎は福岡に於て逮捕され
たが松本は九州水戸村の
立物である。

元光は西園寺公の取後

松方公死後元光制は西園
寺公最後のとして廃止し、
御下向は内府、前総理及
樞密院議長長等應ずる
筈に於いた。

店員十五名生理

十五銀行横濱支店建
物倒壊し店員十五名
生理とある (七月十四日)
赤鬼の興論を喚起
松岡真一郎氏は米國の排日案
に憤慨し、外務省の能く
難馬に行き法王を通つて
古泉の輿論を喚起するに努
むる。

電車は日本髪流行

香水の匂まを
排日問題より種々の反動
團體が宣傳ビラを撒き米
貨不買強要ふと至るに
その餘憤があらわれて来た
最近耳隱しの女はアリカ
乞食に髪を髷だと赤い宣
傳ビラを撒くが尚進んで
電車内及劇場等に於て
右の髪を見つけたら
す旨宣傳し、昨今は電
車内に於て

人事

久慈中心氏、フィン在任の
同氏は高月を為め米武
の如き二日歸途に
エドワード崎氏、今回亞
中央鉄道會社に入社さ
る一日任地ヴェナト、ソ
に赴く。

黒山若雄氏、病氣防方
に向ひたるため近々退院の
又木周氏、台湾新高
製糖會社の全氏は南米
巡遊の途、日前着重
直にヤコビ視察に赴く
右井商務官、米國商
務官と同行、七日アスン
ションに向き出する旅行の
的はパラグアイ國の綿作視察
の記

富田内務省社會局長
の記

橋本東京高等工業学
校教授
西氏に兼て當國視察の
延期十日智利に向き出する
の記

各種投稿歡迎

本社主幹の旅行

岩本本社主幹は約去夏
ヶ月の豫定で北 部視
察の為の本月四日出発

各種投稿歡迎

各種投稿歡迎

各種投稿歡迎

各種投稿歡迎

各種投稿歡迎

伊亞交歡

伊皇太子着

大正十三年八月五日午後モニテ
 伊皇太子は五日午後モニテ
 九時オシヨリ出迎の軍艦
 隊と合し五日夜ハ港を
 外に假泊し六日午後二
 時に入港し、伊太子は
 文武百官に迎えられて政
 然 麗り至り、伊皇太子の親
 了 言、大統領は口を閉して後
 時 露露堂より大統領アル
 報 ベル氏と共に潮の如く押
 し寄せ、多民衆の歡迎
 に答へる後、馬車に大
 統領と同乗し、ハレルモ
 ナのボツニヌ氏邸に着き、
 ニのは午後五時半あり、
 多 夜は八時半よりカサヤク
 に於て大統領の饗宴
 あり、七時半ハレル大統領

は乾杯して伊皇太子と伊國
 民の親交を祝し、今次太子
 の訪問は伊亞親善の基礎
 を益々鞏固にするものとあり、
 自分も全亞國民に代つて深
 甚なる感謝の意を絶えず
 する歡迎の意を表するものと
 述べ、伊皇太子は亞國朝
 野の熱誠なる歡迎に對し
 感激の意を述べ、所々余は
 伊國民に代つて謝意を表
 し、大統領閣下並に全亞高
 民の親交をこころむるが
 りと答へた官終つて、ハレル
 ンより消防隊の行進を聞
 兵した後、歸邸し、伊皇太子
 亦再歡迎の筈一日は了り、
 當夜の出入は數十方を下ら
 なく、政廳前のプラザには
 少くも十餘萬人の群集があ
 り、種々 押寄せ、百
 數十名は押倒れ、
 氣絶し、或は負傷し、
 いて、全市はイルミネーション
 燦々として輝き、次の海化した

空中征服

サニシ少佐が七月廿六日
 南アムステルダムを起り、
 空を飛んで、
 眼に出、
 見事な飛行
 伊亞東、ベルリン、印度
 の空を通過し、
 ツリに、
 は、
 である、
 に依れば、
 度アラハ、
 に向つて、
 階、
 と呼ぶ、
 の止む、
 サニシ少佐、
 亞國政府は、
 院議員、
 ポント氏は、

少佐、
 心、
 ム、
 東京、
 二機、
 後の、
 上、
 目的、
 提出、
 亞國海軍飛行家の
 海軍大臣、
 は、
 後、
 東京、
 を、
 目的、
 ある、
 見学の飛行家の

東京電報

八月五日東京電
 軍備縮少調査委員
 會は、
 團を、
 し、
 ことの、
 山田商店、
 小田商店、
 Alstair & Co.

飛行を断念す

月、
 英、
 ラ、
 半、
 島、
 命、
 際、
 の、
 念、

フエス・アイリスより東京へ

(一悪人の手紙)

Y・Z・両兄

九拾日の航海をうけて雨の
 腐れ縁のフエス・アイリスの土
 さ踏んだ、自動車は往
 來織るうららかな月大通
 の光景や、流行を競ふ
 フロリダ街の夕の雑踏を
 二年前と大した変わりもなく
 武市は旧觀依然然たるも
 のあるが、変わったのは人間だ
 二年前のソルレーの運は大抵
 細るを持て小供を養つて
 し何時の間にかパーとふり
 すまじ大に内満に納まり
 居る聞く處に依る人人生
 最愛の妻を抱き眠るほど
 幸福はふいにたそがれた。
 浪々漂泊の身辺常は不
 意勝ふるは兄弟の経験
 が物語る所、縞の財布は
 永らるべき物さふく、フエス
 の空で、どうやら薄暗さふ

いまた、江戸の仇が當所
 とられるらーい、酒と女に縁
 の遠いことはテングお話にふ
 りぬ、五色の酒、夕の踊り
 金あそびの事や外國の文
 無には特別に心細い、これ
 日本ふは五つ酒をもち氣
 持よく酔はらわけて、つ
 歩みおせ最後は、大門
 峰の頭もあるさう、飛ぶよ
 フ食して踊つて、あはれ引
 けなすふーと来やがる、夫
 らら先はアー、アヤアヤ
 どうたい御兩人馬鹿に不景
 氣だす、あまりつらふい
 ら時々は、鳥鳴の聲を
 さ唸つて見るの、感心する奴
 は、又も居ふい、そんなさ
 の文句が、隣への便席、
 言すのうらよ、長兵衛がど
 こらあたりで、長兵衛がど
 うの、十郎左門が、何んだの
 と、さうなつて、分る奴は、一匹
 居ふい、下らぬ、我利
 の口先、手先、ばり、

時報歌壇

カラテにるま引き行きて
 一傳文

一、寒夜なれど、ま引き、紫雲外
 暗きあたりを、ササ、燈、光、ら、す
 一、おは、ま、の、闇、く、り、と、天、地、も
 比、目、眠、り、居、り、や、毛、濃、く、し
 一、モ、ス、カ、リ、ア、ス、に、う、け、て、ひ、ろ、が、る
 一、郊、外、の、燈、や、い、と、ま、ま、と、こ、こ
 一、我、今、宵、旅、人、の、心、地、一
 も、の、る、歌、さ、う、た、え、う、る
 (一九二四一八二)

Omni No 2 出づ
 文藝雑誌オムニ・ノ・二
 の本月六日に出る
 雑詩二詠(俳句) 若佐三郎
 信する力(詩) 若谷貞次
 歌劇十首(短歌) 石井水子
 感想
 童謡三首 脇水鉄弥
 古事の人心に 宮川誠三
 批評
 等、文学的價値に満ちたものである

見習自三名急入用
 一名は本業の見習自で
 一名は着物の見習自で
 一名は配人の相違西語に
 通じ、実直本當關的の
 御方を求む至急御系
 御談を小給料其他は
 御談の上
 廿化本洗濯店
 Higgins 1301 (Belgium)
 U.T. 1831, Belgium
 各種ミシンのとり
 致しませう
 ウスギヤ街 九八一
 田中

Academia de Bailes.
 Suipacha 344
 Director y Profesor
 P. Antonini
 丁寧親切に教へます
 アントニニ
 スパチャ街 三四七

見習自三名急入用
 一名は本業の見習自で
 一名は着物の見習自で
 一名は配人の相違西語に
 通じ、実直本當關的の
 御方を求む至急御系
 御談を小給料其他は
 御談の上
 廿化本洗濯店
 Higgins 1301 (Belgium)
 U.T. 1831, Belgium
 各種ミシンのとり
 致しませう
 ウスギヤ街 九八一
 田中

最近農務省肉類商業管理部発表の一九二三年、一九二四年及一九二五年の上半期に於ける西國凍肉會社、塩漬肉會社及罐詰會社の屠殺せる牛羊豚数統計

凍肉會社	牛	一九二三年	一九二四年	一九二五年
凍肉會社	牛	二九四三〇	二九五八〇	二二〇〇八二〇
塩漬肉會社	牛	二六二三五	三三三六七	三六四九五
罐詰肉會社	牛	二二〇七九五	三三三五六	二四七七四五
合計	牛	二四八七五五	四六四九八	二五五九一九
凍肉會社	豚	三六三六七	一五二九七	四六七〇五

甲萬油

特價大賣出し

税関より又々甲萬油を
出関したし特價二十パーセント
で皆様の御用命に應じま
す。お口の切とらぬ内に種々御
注文を願ひます。
カルロス・ペレリニ街三九
東京食料店

Dr. Rabinovich
Medico Cirujano
California 1627
U.T. 21-0940 Barr.
内外科
婦人科
産科
泌尿科
皮膚科

日本花店最近の専業報告と

先輩知友諸君への御挨拶

一、日本花店はブエノアイレス市の商業と歡樂の中心と成たる
コリエニエス街八三五には宜く月家賃壹千ペソを投じて支店
蝶屋商店開業の運びに成りました。

一、日本花店は更に新専業としてブエノアイレス市の最大娯樂場
の中心地点に家賃壹千月壹千ペソを投じて模範的高
等菓子喫茶店を開業の運びに成りました。

一、日本花店はロサリオ市に開業の家畜農産博覧會の賣
店に日本人の活動振をホめて居ります。

一、日本花店に於て御買上商品は弊店自働車より早速御届け
致します。

日本花店開業以來約貳年余各位の深甚なる御後援の賜に
據りて斯の如き弊店の発達を来多した事は店主の感銘措の
る處に有之今後とも全店員益々奮闘を期し居ります。さら
の御全情と御援助とを御願ひ申上げます。

日本花店店主 芝原耕平

(店主面會時間 午前中)

